

人権平和センター豊中

# 資料室ニュース

2021年3月号

編集：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会(豊中市委託事業)

〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7

電話：06-6841-5300 Fax：06-6841-6655



## 新着図書案内

### きみの家にも牛がいる

作：小森香折 絵：中川洋典 出版社：解放出版社 発行年月日：2005/10/25

絵本(A4変型判)：32ページ ￥2,200 ジャンル：教育

牛は、人が食べるために屠畜される。でも、食べるだけじゃない。意外なものまで牛を材料に作られ、私たちの生活を支えている。どのように屠畜・解体され、どんなものに加工されるかを表した絵本。

### 医療の外れで

-看護師のわたしが考えたマイノリティと差別のこと-

著：木村映里 出版社：晶文社 発行年月日：2020/11/5

四六判：236ページ ￥1,760 ジャンル：社会

「病院の世話になるくらいなら死んだほうがまし」そう言った彼に、わたしはどう答えたらよいのか？ 若手看護師が描く、医療と社会の現実。

生活保護受給者、性風俗産業の従事者、セクシュアルマイノリティ、性暴力被害者などが、医療者からの心無い対応で傷ついたり、それがきっかけで医療を受ける機会を逸している現実がある。医療に携わる人間は、こうした社会や医療から排除されやすい人々と対峙するとき、どのようなケア的態度でのぞむべきなのか。看護師として働き、医療者と患者の間に生まれる齟齬を日々実感してきた著者が紡いだ、両者の分断を乗り越えるための物語。誰一人として医療から外さないために。

## 貸出状況

「日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション」「魯肉飯のさえずり」「人新世の「資本論」」「丁寧に考える新型コロナ」「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」「ひとり舞台」「にほんでいきる」「ワイルドサイドをほっつき歩け」その他の貸出がありました。

## ★お知らせ★

人権平和センター豊中は、5月31日まで工事のため施設の利用はできません。

ただし、本の貸出は受け付けておりますのでご連絡ください。

## 【書評】

### 「にほんでいきる」

#### ～外国からきた子どもたち～

編集：毎日新聞取材班 出版社：明石書店

私はこれまで、いろんな国にルーツをもつ子どもたちとの出会いがありましたが、今の子どもたちの状況について知りたいと思いこの本を読み始めました。

本の編集に関わられた「毎日新聞取材班」の中心メンバーは、この本の編集に関わる以前から外国人や子どもの教育を取り巻く問題に取り組まれており、そのことがベースとなっています。

日本で暮らす外国籍の子どもたちの中には、日本語の支援が十分に受けられず学校に通えなくなってしまう子どもたちや、学校へ行かせてもらえず転居を繰り返すなど「就学不明」になっている子どもたちもいます。そんな子どもたちのさまざまな状況について知ることができ、今後、どのようなことが求められるのかについて考える機会をいただきました。

このような子どもたちの中には、日本語の読み書きが習得できていない子どもたちもたくさんいます。学校でも日本語を学ぶ機会の保障が十分でない地域も多く、授業の内容が理解できないことや、外見や発音を理由にいじめのタ

ーゲットにされ、学校へ行けなくなった子どもたちもいます。

学校に行けなくなった子どもたちは、言葉がわからないことが原因で、知らない間に非行や犯罪に巻き込まれ、少年院へ行く子どもたちもいます。少年院の中にはそのような子どもたちのグループワークに取り組み、子どもたちの心の成長につなげているところもあります。

また、決して多くはありませんが、学校に行けなくなった子どもたちの支援をされている団体もあり、そのような団体とつながれる子どもたちは、安心できる場所ができます。

ここに出てくる子どもたちの親も、今日本を支えている一員ですが、この子どもたちも、今後日本を支える一員になります。日本で暮らすすべての子どもたちが同じように教育を受けられることが、国籍を問わずにみんなが「安心できる社会」を作っていくことにつながると思います。

この本を読んで、これまで人権平和センターが解放会館や人権まちづくりセンターの頃から取り組んできた、児童館活動や識字・よみかき教室などの取り組みが、これからも必要な取り組みだということを改めて実感する一冊でした。(まちづくり協会 事務局)

※資料室にて貸出可能です。

## 寄贈図書

「真綿荘の住人たち」著：島本理生、「犯罪者(上下)」著：太田愛、「象は忘れない」著：柳広司、「感染症と文明」著：山本太郎、「戸村飯店青春 100 連発」著：瀬尾まいこ、「イン・ザ・プール」著：奥田英朗などの寄贈をいただきました、ありがとうございました。

## 資料室の利用方法

図書の貸出は 1 回につき原則 3 週間、5 冊までです。期限は厳守してください。

貸出カードに名前、住所をご記入ください。電話、FAX、メールでも受け付けています。

連絡便での貸出・返却が可能です。貸出中の場合はご了承ください。

人権平和センター豊中

電話：06-6841-1313 FAX：06-6841-1310 E-mail：[toyojinken@city.toyonaka.osaka.jp](mailto:toyojinken@city.toyonaka.osaka.jp)